

平成16年6月11日
中国電力株式会社

広島中央変電所・広島中央線の営業運転開始について

当社は、平成11年10月から広島中央変電所および広島中央線の建設を進めてまいりましたが、昨日18時40分、使用前自主検査を終了し、営業運転を開始いたしました。

当社は、これまで、広島市中心部の電力需要に対し、東西南北4力所の11万ボルト変電所から電気を送ってまいりましたが、今後の電力需要増加に対応し、安定供給に万全を期すため、22万ボルト送変電設備として、広島中央変電所、広島中央線の建設を進めてきました。

今回、営業運転開始した広島中央変電所、広島中央線は、電圧が22万ボルトと、当社では初めての大都市部への超高圧電力システムの導入となります。また、超高圧変電所としては、当社初の地下式変電所となります。

なお、建設にあたっては、縮小型機器の採用による省スペース化など様々な新技術・新工法を採用し、広島中央変電所、広島中央線あわせて約28億円の工事費低減を図りました。

1. 広島中央変電所の概要

所在地	広島市中区
変圧器	2台(ガス絶縁方式) (電圧)22万ボルト／11万ボルト (容量)30万キロボルトアンペア
送電線	22万ボルト 2回線 11万ボルト 8回線
総工事費	約97億円

2. 広島中央線の概要

区間 広島市安佐南区～広島中央変電所

電圧 22万ボルト

回線数 2回線

亘長 11.94km

線種 架橋ポリエチレン絶縁ステンレス被ビニル防食ケーブル
2,000mm², 2,500mm²

総工事費 約165億円

以上